



各 位

JASDAQ

平成 29 年 5 月 15 日

株式会社アイデアインターナショナル  
代表取締役社長 森 正 人

(コード番号：3140 JASDAQ)

問合せ先：取締役経営情報部長  
松 原 元 成  
(TEL 03-5446-9505)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年 8 月 10 日に開示した、平成 29 年 6 月期（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）の通期業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の業績予想数値の修正（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,616	264	198	188	15 円 79 銭
今回修正予想 (B)	7,700	340	274	264	22 円 17 銭
増減額 (A-B)	84	76	76	76	—
増減率 (%)	1.1	28.7	38.3	40.4	—
(参考) 前期実績 (平成 28 年 6 月期)	6,160	182	148	223	37 円 85 銭

(注) 平成 29 年 6 月 1 日付で、株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行う予定です。平成 29 年 6 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算出しております。

#### 2. 修正の理由

利益面において、営業利益、経常利益、当期純利益ともに大幅な増益となる見込みです。主な要因は次のとおりです。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業においては、キッチン雑貨を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」が好調に推移し、前年同期売上を大きく上回り、中でもデザイン性に優位性のある「ホットプレート」が売上を伸ばしており、「セラミックコート鍋」等のホットプレートのオプション商品も計画を上回ることとなりました。E コマースにおいては戦略的に広告宣伝による販売強化を進めてきた結果、売上が前期よりも大きく上回りました。またデザイン関連手数料収入が増加したこと、経費を計画よりも抑制できたことから、四半期ベースでの売上高及

び営業利益は過去最高を更新し、大幅な増収増益を達成しました。

当社の強みである商品開発力を生かした自社ブランド商品、インテリア雑貨ブランド「ブルーノ」、トラベルグッズブランド「ミレスト」、オーガニックコスメブランド「テラクオーレ」に対して積極的に広告宣伝を投下し、ブランド認知率を高めてきた結果、自社商品売上比率が高まり、利益率が向上してきております。小売事業につきましては直営店舗の出店時期が計画よりも遅れておりましたが、4月に渋谷東急東横、八重洲地下街、名古屋高島屋、ペリエ千葉の4店舗が開店し、今後複数ブランドを取り扱うハイブリッド型店舗や新業態のギフトショップの出店を加速化させることで、収益拡大が見込めると考えております。Eコマースにつきましては引き続き積極的な広告を実施し、ECモールへの出店を加速化させることで大きく収益を伸ばせるものと考えております。またRIZAPグループのシナジーを生かし、グループ各社へ積極的に商品・デザイン等の提案を行なうことで、さらなる収益の拡大を見込んでおります。

(注) 上記の通期業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上